

PT・OT ビジュアルテキスト  
身体障害作業療法学1  
骨関節・神経疾患編

contents

● 序 ————— 小林隆司

## 第1章 基礎編

<b>1 概論</b> —————	小林隆司	14
<b>1</b> 身体障害とは .....		14
<b>2</b> 身体障害作業療法のプロセス .....		14
1) マネジメント型作業療法プロセス 2) エンゲージメント型作業療法プロセス		
<b>3</b> 骨関節・神経疾患における目標設定 .....		18
<b>4</b> 協調アクション .....		21
<b>2 作業遂行へのアプローチ</b> —————	石橋 裕	22
<b>1</b> 作業遂行とは .....		22
<b>2</b> 導入 .....		22
1) いつ作業遂行にアプローチするのか 2) 導入に向けたカギ：面接		
3) 面接で使用する評価法		
<b>3</b> 作業遂行の目標立案 .....		27
1) AMPS 概念モデル 2) 目標立案のポイント		
<b>4</b> 遂行観察の実施 .....		29
遂行観察のポイント		
<b>5</b> 遂行観察の結果の分析 .....		31
1) 作業遂行に影響を与えている要因の特定 2) 作業遂行の問題認識の確認		
<b>6</b> 作業遂行へのアプローチ .....		31
1) 具体的なアプローチ法 2) 留意すべき点		
<b>3 運動学習</b> —————	塩津裕康	35
<b>1</b> 運動学習の基礎 .....		35
1) 運動学習とは 2) 運動学習の過程		

<b>2</b>	運動学習に関与する諸理論	37
	1) 学習理論 2) 運動学習と運動制御	
<b>3</b>	運動学習に関連する因子	42
	1) 個人差の影響 2) 実践のプロセス	
<b>4</b>	運動学習の評価	46
	1) 保持 2) 般化 3) 転移	
<b>4</b>	<b>知覚再学習</b> <span style="float: right;">佐野伸之</span>	48
<b>1</b>	感覚, 知覚と作業活動の関連	48
<b>2</b>	感覚, 知覚とは: 感覚受容器の特徴	49
	1) 感覚と知覚 2) 体性感覚と特殊感覚	
<b>3</b>	感知した刺激の処理と統合	50
<b>4</b>	知覚の能動性 (アクティブ・タッチ)	51
<b>5</b>	損傷によって生じる末梢神経や脳の変化	54
<b>6</b>	知覚再学習のための評価と解釈	55
<b>7</b>	知覚再学習に関するアプローチ	56
	1) 防御知覚障害の指導 2) 知覚再学習 (他動的触覚, 能動的触覚) 3) 知覚-運動学習 4) 動作学習 5) その他のアプローチ	
<b>5</b>	<b>関節可動域・筋力へのアプローチ</b> <span style="float: right;">南 征吾</span>	62
	<b>A) 関節可動域の基礎</b>	
<b>1</b>	関節の基礎知識	62
	1) 関節の構造 2) 関節包の構造 3) 靭帯 4) 皮膚	
<b>2</b>	関節運動	65
	1) 関節包内運動 2) 関節運動の軸性と分類 3) 関節の運動方向と関節可動域測定	
<b>3</b>	最終域感 (エンドフィール)	68
<b>4</b>	関節可動域制限の発生要因	68
<b>5</b>	痛み	70
	<b>B) 筋の基礎</b>	
<b>1</b>	筋収縮の分類	71
<b>2</b>	筋力の測定	71
	1) 徒手筋力検査 2) 機器を用いた筋力検査 3) 超音波画像	
	<b>C) 関節可動域と筋力へのアプローチ</b>	
<b>1</b>	作業療法における関節可動域と筋力へのアプローチ	73
<b>2</b>	関節可動域と筋力へのアプローチの実際	74
	1) 関節可動域運動 2) 筋力トレーニング	

## 第2章 疾患編

<b>① 脳卒中</b> .....	齋藤佑樹	80
<b>1 疾患概要</b> .....		80
1) 脳卒中とは 2) 脳卒中の種類 3) 脳卒中が引き起こす主な障害		
<b>2 作業療法評価</b> .....		82
<b>3 作業療法プログラム</b> .....		86
1) プログラムを立案する前に 2) 活動・参加に対する支援 3) 環境に対する支援 4) 心身機能に対する支援		
<b>■ アクティブラーニングー症例から学ぶ</b> .....		111
ADL自立とカレーづくりを希望する脳梗塞の68歳男性		
<b>② 脊髄損傷</b> .....	水谷とよ江	113
<b>1 疾患概要</b> .....		113
1) 脊髄の解剖 2) 脊髄の障害		
<b>2 作業療法評価</b> .....		116
<b>3 作業療法プログラム</b> .....		117
1) 活動と参加：ADL 2) 環境：車椅子利用者における住宅改修 3) 心身機能		
<b>■ アクティブラーニングー症例から学ぶ</b> .....		133
ADL自立を望む頸髄損傷完全麻痺の19歳男性		
<b>③ 関節リウマチ</b> .....	佐藤信治	135
<b>1 疾患概要</b> .....		135
1) 関節リウマチとは 2) 診断基準 3) 目標達成に向けた関節リウマチ治療（T2T） 4) 薬物療法 5) 臨床検査項目 6) 画像診断 7) 手指変形		
<b>2 作業療法評価</b> .....		144
<b>3 作業療法プログラム</b> .....		147
1) 活動と参加 2) 環境：生活指導 3) 心身機能		
<b>■ アクティブラーニングー症例から学ぶ</b> .....		154
関節リウマチの進行がみられる35歳女性		
<b>④ 骨折および関節疾患</b> .....	寺岡 睦	156
<b>1 疾患概要</b> .....		156
1) 大腿骨頸部骨折 2) 橈骨遠位端骨折 3) 変形性膝関節症 4) 腰椎椎体骨折 5) 上腕骨近位端骨折		
<b>2 作業療法評価</b> .....		159
<b>3 作業療法プログラム</b> .....		161
1) 大腿骨頸部骨折 2) 橈骨遠位端骨折 3) 変形性膝関節症 4) 腰椎椎体骨折 5) 上腕骨近位端骨折		

■ アクティブラーニング-症例から学ぶ	176
ADLの自立に不安を抱く橈骨遠位端骨折の69歳女性	

## 5 手の外科 佐野伸之 178

### A) 末梢神経損傷

1 疾患概要	178
--------	-----

1) 末梢神経損傷の分類 2) 末梢神経の修復過程 3) 手の末梢神経損傷の特徴

2 作業療法評価	180
----------	-----

3 作業療法プログラム	182
-------------	-----

1) 活動と参加 2) 人的・物的環境 3) 心身機能：修復過程に応じた治療プログラムの流れ

### B) 手指の腱の損傷

1 疾患概要	186
--------	-----

1) 手指の腱のはたらきと損傷部位による分類 2) 術式 3) 術後の修復過程

2 作業療法評価	189
----------	-----

3 作業療法プログラム	189
-------------	-----

1) 活動と参加 2) 人的・物的環境 3) 心身機能：修復過程に応じた治療プログラムの流れ

■ アクティブラーニング-症例から学ぶ	197
職場への早期復帰を希望する尺骨神経損傷の54歳男性	

## 6 熱傷 妹尾勝利 199

1 疾患概要	199
--------	-----

1) 皮膚の構造 2) 皮膚の感覚受容器とその分布 3) 健常皮膚の特性 4) 熱傷とは  
5) 合併症 6) 治療法

2 作業療法評価	210
----------	-----

3 作業療法プログラム	213
-------------	-----

1) ショック離脱期後から創閉鎖まで 2) 創閉鎖から社会復帰まで 3) スプリント療法

■ アクティブラーニング-症例から学ぶ	218
シンナーへの引火により重症熱傷となった男性	

## 7 神経変性疾患 三橋里子 219

1 疾患概要	219
--------	-----

1) パーキンソン病とは 2) 脊髄小脳変性症とは 3) 筋萎縮性側索硬化症とは

2 作業療法評価	224
----------	-----

3 作業療法プログラム	229
-------------	-----

1) パーキンソン病 2) 脊髄小脳変性症 3) 筋萎縮性側索硬化症

■ アクティブラーニング-症例から学ぶ	241
7年前にパーキンソン病を発症した73歳男性	

<b>8 神経免疫疾患</b> .....	須山夏加	243
<b>1 疾患概要</b> .....		243
1) 神経免疫疾患とは		
2) 多発性硬化症		
3) ギラン・バレー症候群		
4) 重症筋無力症		
5) その他の神経免疫疾患		
<b>2 作業療法評価</b> .....		245
<b>3 作業療法プログラム</b> .....		247
1) 治療活動・作業種目		
2) 環境・福祉用具		
3) 疾患ごとの作業療法プログラム		
<b>アクティブラーニングー症例から学ぶ</b> .....		256
独り暮らしと復職を望む多発性硬化症の34歳女性		
<b>索引</b> .....		258